

# ヘルダーリンと哲学

## 詩作と思索の交差

哲学講座  
2025年度  
初夏講座

今回の哲学講座は、いつもとは一味違う「文学」の視点からの講座です。ドイツの詩人フリードリヒ・ヘルダーリン（一七七〇―一八四三年）は、ヘーゲルやシエリングと同じ神学校で学び、カントやフィヒテの思想を基にして、古代ギリシアから強い影響を受けた詩を書きましました。キリスト教とギリシア神話が混然一体となり、異質な語感を与える詩文は、ハイデッガーが自らの哲学を展開するために何度も参照したことも知られています。文学と哲学、詩作と思索の交差する場所としてのヘルダーリンをぜひ一緒に読んでみましょう。

全6回

木曜日 18時30分～20時00分

第一講 2025年6月12日(木)

ヘルダーリンとは誰か

第二講 2025年6月19日(木)

ヘルダーリンと古代ギリシア

第三講 2025年6月26日(木)

ヘルダーリンとドイツ観念論

第四講 2025年7月3日(木)

ヘルダーリンとハイデッガー

第五講 2025年7月17日(木)

ヘルダーリンとアドルノ、ベンヤミン

第六講 2025年7月24日(木)

ヘルダーリンと現代思想

講師 林 英哉 (はやし ひでや)

1989年生まれ、関西大学准教授。専門は近現代ドイツ文学。現在の研究テーマは、ヘルダーリンにおける詩的主体の脱主体化・脱個人化と言葉の行為体性。また障害文学も研究対象としている。著書に『„Lang ist die Zeit, es ereignet sich aber das Wahre“。Hölderlins Poetik des ‚Ereignisses‘』2021年。共訳にアンドレアス・レクヴィッツ『幻想の終わりに』2023年。第55回ドイツ語学文学振興会奨励賞。

市民一般に開かれた講座  
です。どなたさまも自由  
にご参加いただけます。

オンライン配信のみの開催となります。

主催 公益財団法人日独文化研究所

申込期間 2025年5月7日から6月5日まで

日独文化研究所ホームページの応募フォームよりお申し込みください。

受講料(全6回分) 一般 12,000円 学生・大学院生・OD 6,000円

本研究所の賛助会員の方は3割引の受講料にて受講いただけます。加入希望の方はお知らせください。



18時30分から  
オンライン配信

終了予定 20時00分

(初日6月12日は開講挨拶があるため、20時15分終了予定。また、7月10日の木曜日はお休みです。日程にご注意ください。)

みなさまのご参加をお待ちしています。



公益財団法人  
日独文化研究所  
お問い合わせ  
〒606-8305 京都市左京区吉田河原町19番地3

E-mail: [koza@nichidokubunka.or.jp](mailto:koza@nichidokubunka.or.jp)  
ホームページ: <https://www.nichidokubunka.or.jp/>

✕ JDK\_nichidoku